

やまがた 赤い羽根通信 【第1号 不定期発行】

社会福祉法人山形県共同募金会 ☎ 023-622-5482



「やまがた 赤い羽根通信」 発行にあたって

以前から市町村募金委員会の皆様方からは、共同募金に関して、「もっと情報提供してほしい」といった声を伺っておりました。そこで、この度

- ① 市町村委員会への各種情報提供
- ② 委員会が抱える課題の共有と対応に向けた検討
- ③ 共同募金会からのお願い

等を目的として「やまがた 赤い羽根通信」を発行することとしました。

各担当の皆様には今後、取材への協力や情報や写真等の提供をお願いする場合がありますがよろしくご協力をお願いいたします。

また、「記事の掲載をお願いしたい」「こんな事を取り上げてほしい」等の声をどんどんお寄せいただき、市町村募金会の皆様と一緒に紙面を作っていければと考えておりますのでよろしくお願い致します。



大江町募金委員会における ワークショップ募金活動

(茨城県募金会から事例照会があったもの)

大江町募金委員会では、従前は募金箱の設置や、社会福祉協議会で実施する講演会に合わせて募金活動を展開していましたが、令和6年度は、集客が期待できる大江町の食のイベント「物産味覚まつり」に募金のブースを無料で設置させてもらうこととなりました。

また、社会福祉協議会で「ものづくりサロン」を実施した経験から、募金の返礼品として赤い羽根キーホルダやアクセサリーづくりを体験する

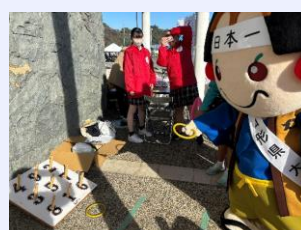


ワークショップ参加型募金

「ワークショップ型募金」を実施してはどうかとの発想に至りました。そこで、大江町募金委員会では

- ① 高校生ボランティアによる街頭募金
- ② ワークショップ参加型募金
(レジン硬化液で赤い羽根を作る)
- ③ 景品付き輪投げ体験(募金は任意)

の三本立てでブースを設置するとともに、「ものづくりサロン」で作った作品も返礼品として活用しました。



事務監査結果から

昨年度の市町村委員会の事務監査において、複数の委員会で「広報誌に受配者からの“ありがとうメッセージ”を掲載するように検討してください」との口頭指導がありました。

再度募金してもらうためには、「募金してよか

った」と思ってもらうことが必要であり、そのためには、積極的な情報発信が極めて重要ですので、各委員会においてはこの趣旨を徹底して下さるようお願いいたします。



歳末たすけあいの配分について

6月26日に開催された本会評議員会において歳末たすけあいに関する配分について一定の基準を策定した方がスムーズに配分できるのではないかとの問題提起がありました。

歳末たすけあいの配分については、各社協で「歳末たすけあいの配分委員会」「審査委員会」

等で協議されるものと承知していますが、個人情報保護との兼ね合い、行政の参画姿勢、各民生児童委員の声の大小など問題も多いようです。

「うちはうまく配分している」という募金委員会市町村社協がありましたら是非知恵をお貸しください。

本会の会長・副会長の選任について

6月26日(木)に第183回評議員会、第261回理事会が開催され、本会の会長・副会長等の体制が下表のとおり決定されました。

なお、阿部慎一監事、菅原重明監事の両名も再任されております。

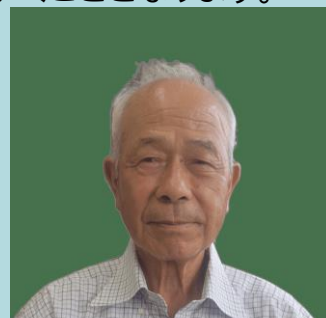
役職	氏名	区分	備考
会長	池野勇男	再任	学識経験者
副会長	手塚宮雄	新任	米沢市共同募金委員会会長
副会長	山木知也	新任	鶴岡市共同募金委員会会長
常務理事	菅原誠	新任	事務局長

本会の池野会長が 中央共同募金会の副会長に就任

6月19日(木)に開催された中央共募の評議員会において本会の池野会長が理事に選任され、続いて開かれた理事会において、古都賢一氏(学識経験者)、長岡 奨氏(徳島県募金会会長)とともに、副会長に選任されました。

今後、他の副会長とともに中央共同募金会の村木会長を支えていくこととなります。

任期は、令和9年6月に開催予定の定時評議員会終了までの概ね二年間となります。



池野会長